

ミニボートフェスティバル 2011 木更津ハゼ釣り大会

日時：2011年9月19日（月祝日）5：30～

ところ：千葉県木更津市木更津港内

主催：みなと木更津うみ祭り実行委員会

（木更津市、木更津商工会議所、木更津漁業協同組合、JA 木更津市、木更津内港活性化促進協議会、海上自衛隊航空補給処、海上保安庁木更津海上保安署、（財）日本海洋レジャー安全・振興協会、（財）日本釣振興会、（社）日本舟艇工業会、きさらづ海の駅、木更津市観光協会、NPO イルカ計画、きさらづ海洋少年団、木更津市ヨット協会、かずさネットワークの会、広域交流市民の会）

後援：国土交通省関東運輸局、千葉県

協力：（財）マリンスポーツ財団、NPO 湘南海上安全協会

みなと木更津うみ祭り、秋の1日ハゼ釣りをおおいに愉しむ！！



ミニボート釣り大会
参加者大集合！
開会式を終えて、
いざ、出航！！

台風15号16号の針路にあたり天候が心配された3連休の最終日9月19日、千葉県木更津港内ではみなと木更津うみ祭りの一環として「ミニボートフェスティバル木更津ハゼ釣り大会」が開催され、第3回を迎えたお祭り同様釣り大会も年々参加者が増え、今年は32艇58名のエントリーがありました。（出航は26艇49名）

町起こしの起爆剤として、スタートしたこのお祭り、今年は前夜祭（「湘南乃風」を中心にした「木更津赤い橋の音楽祭」）を含めて3日間で約2万3千人（昨年は1万2千人）もの多くの方が近隣市町や神奈川県、東京都、埼玉県から来場しました。特に地元から家族で来場する姿が印象的でした。



18日、うみ祭り開会セレモニー
挨拶する当会梶川会長



開会セレモニー前に行われた
地元子供たちの黒鯛の放流

お祭りに先立って8月28日に実行委員会メンバーや日本釣振興会のボランティアメンバー等100人以上の方が、会場の出島の整備、海底の清掃、草刈等お客様を迎える準備をし、その甲斐が有り、参加した家族たちは整備された芝生の会場でイベントに食事におもいきり楽しむことができました。主催者、ボランティアの皆さんありがとうございました。

さて、釣り大会。ボートを下ろすのは漁船用斜路。日の出前の薄暗い中、大きな船台にはまもなくシーズンを迎える海苔養殖母船が上架され、その横を小型の船台やトレーラーから、手際良くとミニボートが下ろされて行きます。エントリーの約半数の方がこの大会の経験者であり、やや狭い斜路にもかかわらず、協力して次々と下ろし、仮設栈橋に回航に準備を整えました。



清掃されている斜路、船台には海苔養殖
母船 その間を縫って次々に下架



下架したボートは赤い橋が見える仮設
栈橋まで回航して、開会式

心配された台風の影響の風は弱く、絶好の釣り日和になって親子、ご夫婦、釣り仲間、そして今年は「海なでしこ」2名も参加して、6時45分スタートフィッシング。

クーラーボックスにそれぞれの釣果を持って10時45分フィニッシュフィッシング。

全員無事帰着。斜路から船を上架、そして検量、納艇作業が終了した11時45分からは安全講習会。受講した参加者が釣り仲間たちにミニボートでの安全釣行を楽しむポイントを広めてくれることを願い、木更津大会では初めての講習会実施でした。



いよいよスタートフィッシング
ボートに乗り込む海なでしこ2人



木更津大会では初めての
安全講習会 全員が参加

そしてお祭り会場のメインステージでの表彰式。1人が釣ったハゼの総重量で順位をつける個人戦で小さな子供も1人です。その結果、優勝は総重量1,120gのハゼを釣った佐藤正樹さん、2位は1,051gの山崎則夫さん、3位は923gの山口文久さん（去年は2位）、4位は磯野正和さん（去年は優勝）、5位は加瀬光二さん。今年も1kg以上を釣った方が2名。

1～3位の方には、盾と地元産品の新米、木更津産海苔、あさりの佃煮セットなどが副賞として、手渡されました。4～5位の方には新米、海苔等が贈られました。

キッズ賞は佐藤美咲ちゃん、お父さんの正樹さんに及ばなかったものの457gを釣り全体でも堂々の9位。お父さんと「いっぱいっている」と言う美咲ちゃん、もう立派な女性アングラ。レディス賞は580gの山崎真由美さん（仲の良いご夫婦、揃って入賞）秋田県由利市から遠来の佐藤農夫男さんにアクアライン賞、やっさいもっさい賞には大きなワタリガニを釣り上げた岡田恭幸さん、アキレス賞に松田美穂さんと仲村和義さん、スズキ賞には佐藤真知子さん、中村健司さん、小田真也さん。サメ203gを釣った橋本俊一さんと当日19日に因んで19番艇の浜野仁孝さんには特別賞がそれぞれ贈られました。また、参加の子供たちにはノートなどのホンダ賞も贈られました。



検量風景

「私は今晚のおかず分だけヨ」



表彰風景 「晩ご飯は千葉県産のこしひかり
と木更津産の海苔で 地酒は？」

惜しくも入賞を逃された参加者の皆さんは、次回はどこかのミニボートの大会での入賞めざして、きっと腕を磨いてくることと思います。

「みなと木更津うみ祭り」が家族皆でハゼ釣り、ヨット、プレジャーボート、カッター、キッズボート（小型のインフレーターボート）等のマリンレジャーを楽しめるお祭りとして、木更津に定着しつつあることは、海が好きで、マリンレジャーを楽しむ人々やそれを支え快適・安全なマリンレジャーの普及振興をめざす人たちにとっては、とても楽しいことです。



18日に行われた岸壁からの「ハゼ釣り大会」海なでしこもここで腕を磨いた？



17日に開催されたボートゲームフィッシング
ここでも漁業組合の協力が不可欠

最後になりましたが、こんな楽しいお祭りの作り上げ、準備・運営を担った実行委員会の皆様をはじめ、木更津市の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

(記＝ミニボート担当 福原敏行)



お祭り実行委員の皆さん、
運営にあたった市役所の皆さん
ほんとうにありがとうございました。